

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330522119	保育実習指導 I Childcare training guidance I	伊藤久美子、 古田年寿	✓		2	選択	2後期

科目の概要

DP①、③に記載している現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができ、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。また、こどもの生活学科のDP「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成」を受け、幼稚園教諭（伊藤）、中学校教員（古田）として、保育・教育現場で働いた経験を活かし、保育における具体的な場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。

特にこの科目では、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付けるために、保育実習の意義・目的を理解し、実習の内容、自らの実習の課題を明確にします。また、実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解します。そして、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にします。DP⑤、DP⑦の社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けることを目指します。

学修内容	到達目標
① 保育実習の意義・目的を理解する。 ② 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ④ 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。	① 保育実習の意義を理解し、実習の目的、実習の概要を明確にすることができる。 ② 実習の内容、実習の課題について理解でき、自らの実習の課題を明確にできる。 ③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解できる。 ④ 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解できる。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にできる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
	実行力	
考え抜く力	課題発見力	現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「幼稚園・保育所・認定子ども園実習パーフェクトガイド」わかば社（編著）小櫃 智子他、「保育士をめざす人の福祉施設実習」みらい（編著）伊藤貴啓・小川英彦、実習の手引き（授業内で配布）
 参考文献：「保育所保育指針解説書」、「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説書」
 保育教材：パネルシアター（pシート）、「実習のてびき」、日誌「保育実習Ⅰ」、「施設実習」、の徴収を授業内で行う。

他科目との関連、資格との関連

保育実習指導Ⅰ（330522119）は、学科専門科目の幼・保領域、実習領域に位置付けられ、保育実習Ⅰ（330522120）、施設実習（330531121）の基礎となる科目である。
 また保育実習指導Ⅰは、保育士資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席した場合は授業内容の確認および配布物を取りに来ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
レポート		40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的・課題を理解した実習目標（保育所実習Ⅰ）（施設実習）が書ける。 ・実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容を踏まえたパネルシアターの指導案が書ける。 ・実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にするパネルシアターの学びレポートが書ける。 ・施設実習に際して必要な事項（①子どもの生活や活動状況、②職員の間わりや援助内容とその意図、③実習生の子どもへの間わりや動き、援助内容、および気づき）を理解した記録を形式に沿って記載することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（保育実習にの概要の理解・用語の理解）30% 知識の活用（保育実践の方法についての知識と試み）40% 知識の解決（保育実習に向けた自己課題の明確化と目標設定）30% 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容を踏まえたパネルシアターの製作、発表ができる。 ・施設実習に際しての留意事項に関する子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務、実習生としての心構えについて踏まえた児童福祉施設に関する発表ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（保育実習にの概要の理解・用語の理解）30% 知識の活用（保育実践の方法についての知識と試み）40% 知識の解決（保育実習に向けた自己課題の明確化と目標設定）30% 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性） 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力） 目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力） 現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。 （創造力） 子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。 （発信力） 聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。 （傾聴力） 発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。 （規律性） 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S)</p> <p>①保育実習の意義・目的について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>②実習の内容を理解し、自らの実習の課題について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>③実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>④実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>(A)</p> <p>①保育実習の意義・目的について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。</p> <p>②実習の内容を理解し、自らの実習の課題について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。</p> <p>③実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。</p> <p>④実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解でき、自分の言葉で説明できる。</p> <p>⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標について十分に理解でき、自分の言葉で説明できる。</p>	<p>(B)</p> <p>①保育実習の意義・目的について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>②実習の内容を理解し、自らの実習の課題について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>③実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>④実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解でき、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標について理解でき、自分の言葉でまとめることができる。</p> <p>(C)</p> <p>①保育実習の意義・目的について理解でき、記述してまとめることができる。</p> <p>②実習の内容を理解し、自らの実習の課題について理解でき、記述してまとめることができる。</p> <p>③実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解でき、記述してまとめることができる。</p> <p>④実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解でき、記述してまとめることができる。</p> <p>⑤実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標について理解でき、記述してまとめることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・実習のねらいと心構えについて	講義 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・実習の目的と心構えについて理解できる。	(予習) 教科書パート1の1「実習とは何か」を読んで概要を理解する。 (復習) 実習の目的と心構えについて意見をまとめる。 (Googlefoams)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「幼稚園・保育所・認定こども園の特色」 ・幼稚園・保育所・認定こども園それぞれの教育・保育の特色について	講義 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・幼稚園・保育所・認定こども園それぞれの教育・保育の特色について理解できる。	(予習) 教科書パート1の3「幼稚園・保育所・認定こども園」を読んで概要を理解する。 (復習) 幼稚園・保育所・認定こども園それぞれの教育・保育の特色について概要をまとめる。 (Googlefoams)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「保育の実習の一日」 ・保育実習の一日の流れについて ・責任実習について	講義 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・保育所実習の一日の流れについて理解できる。 ・責任実習について指導案の書き方、反省の方法について理解できる。	(予習) 教科書パート2「実習の心得、実習の流れ」を読んで概要を理解する。 (復習) 保育所実習の一日の流れについて概要をまとめる。 (Googlefoams)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「教材研究①」(古田) ・パネルシアターの魅力と保育の活用方法	演習 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・パネルシアターの魅力と保育の活用方法について理解できる。	(予習) パネルシアターについて調べる。 (復習) パネルシアターの魅力と保育の活用方法について概要をまとめる。 (Googlefoams)	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5	「保育所実習Iオリエンテーション」 ・実習日誌の書き方 ・提出物について	講義 フィードバック： classroom	・保育実習Iの目的を理解できる。 ・実習日誌の書き方、提出物について理解し、期限までに提出できる。	(予習) 教科書パート1「幼稚園・保育所・認定こども園 実習前に確認しておこう」を読んで概要を理解する。 (復習) 保育実習Iに必要な書類を整理し、実習準備をする。 (Googlefoams)	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
6	「教材研究②」(古田) ・パネルシアターの製作と発表方法について	演習 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・ハ °パネルシアターの製作と発表方法について理解できる。	(予習) 発表したいパネルシアターを確定する。 (復習) 発表する話の内容をまとめ、構成を考える。 (Googlefoams)	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
7	「子ども理解と実践①」 ・3歳未満児保育と3歳以上児の保育について	演習 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・3歳未満児保育と3歳以上児の保育の特色について理解できる。	(予習) 教科書パート1の10「各年齢・クラスにおける発達や遊び・かかわり方」を読んで概要を理解する。 (復習) 3歳未満児保育と3歳以上児の保育の特色についてまとめる。 (Googlefoams)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「子ども理解と実践②」 ・保育者の援助方法について	演習 グループワーク (AL) フィードバック： classroom	・保育者の援助方法について理解し、実践できる。	(予習) 教科書パート1の12「保育における活動・遊び」を読んで概要を理解する。 (復習) 保育実技と保育者の援助方法についてまとめる。 (Googlefoams)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「施設実習とは」 ・施設実習の意義と目的 ・実習生としての基本的な姿勢 ・福祉施設の理解	・講義 ・グループワーク ・Googleclassにてリアクションペーパーの提出	施設実習の意義と目的を理解したうえで、実習生に必要とされる基本的な姿勢について自ら考えることができる。また、福祉施設の特色を理解し、実習における留意点を述べることができる。	(予習) 教科書第1章p10～20「施設実習とは」、第二章p22～24「実習生としての心構え」をよく読み、理解しておくこと。 (復習) 実習の意義と目的、福祉施設の特色を踏まえたうえでの実習生としての基本的な姿勢をまとめる。 (Googleclassにて提出)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「施設実習の内容、記録」 ・施設における生活指導・学習指導・療育指導・自立支援について ・施設実習の記録の書き方	・講義 ・DVD視聴 ・グループワーク ・Googleclassにてリアクションペーパーの提出	施設における生活指導・学習指導・療育指導・自立支援について理解する。また、施設実習における記録の書き方について学修し、それらを踏まえてDVD視聴した内容について実習記録の形式で記述することができる。	(予習) 教科書第3章「施設実習の内容」第4章「施設実習の記録と評価」をよく読み、理解しておくこと。 (復習) 教科書第5章「養護系施設の実習内容」第6章「障害系施設の実習内容」を読み、それぞれの特色をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「施設実習オリエンテーション」 ・施設実習の流れと事前準備について ・実習目標について ・提出物について	・講義 ・ペアワーク	・施設実習の流れを理解できる ・実習計画、提出物について理解し、期限までに提出できる。	(予習) 教科書p24～32をよく読み、事前学習～実習計画までを理解しておく (復習) 実習目標を作成する	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「教材研究③」(古田) ・ハ°ネルシアターの発表準備	演習 グループワーク(AL) フィードバック: classroom	・ハ°ネルシアターの発表準備ができる。	(予習) 製作に必要な準備ができる。 (復習) パネルシアターを完成させる。 (Googlefoams)	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
13	「教材研究④」(古田) ・ハ°ネルシアターの発表	演習 グループワーク(AL) フィードバック: classroom	・自作のハ°ネルシアターの発表ができる。	(予習) 発表準備、練習をする。 (復習) 発表の振り返りをまとめる。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	「保育実践のまとめ」 ・指導計画および保育実践の見直しと保育教材の活用方法について	演習 グループワーク(AL) フィードバック: classroom	指導計画および保育実践を振り返り、保育教材の活用を実践できる。	(予習) 教科書パート1の13「実習前の事前確認」を読んで概要を理解する。 (復習) 保育実践の内容を計画し、指導案を作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「保育実習Ⅰのまとめ」 ・保育実習Ⅰ(保育所)の実習準備を確認する。	演習 グループワーク(AL) フィードバック: classroom notebook LMによる資料のまとめ	・保育実習Ⅰのねらい、内容、持ち物、提出物などがわかり、実習準備ができる。	(予習) 保育実習Ⅰ、施設実習のねらいをまとめる。 (復習) 保育実習Ⅰ、施設実習の実習目標を清書する (Googlefoams)	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力